

1 事業概要

令和2年度の事業活動は、基本的にこれまでと同様、事業計画を基に、国民の健康の保持及びアルコール飲料に起因する疾病の予防並びにこれらと調和のとれた酒類産業の健全な発展に寄与するため、酒類業界等からの賛助会費・委託金・助成金、基本財産の運用益、出版物等の頒布収入等を活動資金として、また関係各機関と連絡、協議を行いながら、普及・啓発事業、助成金交付事業、調査研究委託事業及び酒類の広告審査事業等の各事業を実施した。

2 総務関係事業報告

1. 会員概況（令和3年3月31日現在）

(1) 正会員	26名
浅見 敏彦	公益社団法人アルコール健康医学協会副理事長
新井 智男	日本洋酒酒造組合専務理事
板垣 武志	ビール酒造組合専務理事
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事
伊東 貞	税理士法人さくらホールディングス代表社員・税理士
伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会専務理事
上田 茂	公益財団法人日本医療機能評価機構専務理事
梅田 勝	東京工科大学副学長
江國 清志	全国卸売酒販組合中央会専務理事
岡南 啓司	日本蒸留酒酒造組合専務理事
岡本 佳郎	日本酒造組合中央会副会長
鹿島 晴雄	国際医療福祉大学大学院教授
黄金井陽介	全国地ビール醸造者協議会副会長
行天 良雄	医事評論家
雑喉 利祐	一般社団法人チェリー・ブロッサム代表理事
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 政信	公益社団法人日本産婦人科医会名誉会員
名賀石 衛	日本洋酒輸入協会専務理事
野崎 貞彦	日本大学医学部名誉教授
福井 次矢	聖路加国際病院院長
堀井 茂男	公益社団法人日本精神科病院協会常務理事
三木 和平	公益社団法人日本精神神経科診療所協会会長
南 砂	読売新聞東京本社 常務取締役調査研究本部長
森 幹雄	公益社団法人アルコール健康医学協会前常務理事
吉田 精孝	全国小売酒販組合中央会会長
渡辺 哲	東海大学医学部客員教授

(2) 賛助会員 団体会員 15者

(酒類業界等11者、製薬業界1者、病院2者、その他1者)

ビール酒造組合
日本酒造組合中央会
日本洋酒酒造組合
日本蒸留酒酒造組合
全国卸売酒販組合中央会
全国小売酒販組合中央会
日本洋酒輸入協会
日本ワイナリー協会
全国地ビール醸造者協議会
(一社)日本フランチャイズチェーン協会
ペルノ・リカール・ジャパン株式会社
大塚製薬株式会社
医療法人(社団)新淡路病院
医療法人せのがわ 瀬野川病院
(一社)チェリーブロッサム

2. 理事会の開催について

(第1回通常理事会) 令和2年5月25日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 21名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(2) 令和元年度事業報告書(案)及び同収支決算(案)について

(第1回臨時理事会) 令和2年6月29日(月) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 理事長・副理事長・常務理事の選任について

(2) 事務局長の任命について

(3) 前常務理事の退職金の支払いについて

(第2回臨時理事会) 令和2年11月4日(水) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 企画委員会 企画委員の選任について

(第3回臨時理事会) 令和3年1月19日(火) (定款第35条書面決議の特例)

於：公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 理事 20名(理事全員から回答)

イ. 議題 (1) 臨時社員総会の開催について

(第2回通常理事会) 令和3年3月19日(金) 於: 日比谷松本楼

ア. 出席理事 11名

イ. 議題 (1) 正会員の入会について

(2) 令和3年度事業計画書及び同収支予算について

(3) 令和3年度定時社員総会の開催・招集について

ウ. 報告 理事長、副理事長並びに常務理事の職務の執行状況について

3. 社員総会の開催について

(定時社員総会) 令和2年6月17日(水) (定款第19条書面議決等)

於: 公益社団法人アルコール健康医学協会会議室

ア. 出席社員 27名(委任状提出者を含む)

イ. 議題 (1) 令和元年度事業報告書(案)及び令和元年度財務省表(案)について

(2) 任期満了に伴う役員の選任について

(臨時社員総会) 令和3年3月19日(金) 於: 日比谷松本楼

ア. 出席社員 26名(委任状提出者を含む)

イ. 議題 (1) 役員の選任について

4. 企画委員会の開催状況について

(1) 構成員 企画委員 11名(令和3年3月31日現在)

(任期: 令和2年11月8日~令和4年11月7日)

伊藤 廣幸	一般社団法人日本フランチャイズチェーン協会 専務理事
猪俣 浩美	アサヒビール株式会社 経営創造本部 環境・ARP室 アルコール関連問題担当 課長補佐
亀井 慶承	日本酒造組合中央会 理事
重盛 憲司	洗足メンタルクリニック 院長
高石 昌弘	東京医科大学 客員教授
田中 潤	サントリースピリッツ株式会社 事業企画部 グローバルARS担当部長
中板 育美	武蔵野大学 教授
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン 副理事長
堀田美枝子	全国養護教諭連絡協議会 顧問
松本 浩明	宝酒造株式会社 常務執行役員東京事務所長
水口 尚人	全国小売酒販組合中央会 事務局長
他に、専門委員	2名

(2) 開催日時及び議題

《令和2年》

例年、4月と6月に開催している企画委員会は、新型コロナウイルス感染症(COVID-19)感染拡大防止の観点から、集会しての会議の開催は取りやめたが、4月の情報誌

「NEWS&REPORTS Vol.26 No.1」企画案の検討、6月の情報誌「NEWS&REPORTS Vol.26 No.1」原稿の確認等企画委員、専門委員へ電子メールにて行い決定した。

第1回 9月7日(月)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.26 No.2」企画案検討
2. 令和2年度助成金について
3. その他

第2回 10月21日(水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.26 No.2」原稿読み合わせ
2. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.26 No.3」企画案検討
3. その他

《令和3年》

第3回 2月17日(水)

1. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.26 No.3」原稿読み合わせ
2. 情報誌「NEWS&REPORTS Vol.27 No.1」企画案検討
3. 20歳未満飲酒防止パンフレット企画案検討
4. 専門委員の交替
5. その他

第4回 2月17日(水) 総会

3/19 開催予定の通常理事会の議題について

- (1)令和3年度事業計画書(案)・同収支予算書(案)について
- (2)その他

3 業務関係事業報告

令和2年度においては、賛助会費等 38,140 千円、出版物等頒布収入 389 千円、基本財産運用益 1,183 千円、助成金 900 千円、委託金 6,423 千円等、計 47,035 千円をもって、次の事業を実施した。

【公1 普及・啓発事業】

1. 普及・啓発資料の作成・発行事業

アルコール飲料に関する知識及び適正な飲酒習慣に関する思想の普及並びに 20 歳未満の者の飲酒防止に関する啓発を内容とする機関誌、情報誌やリーフレット等を編集・作成した。

- ・ 機関誌「お酒と健康」第 40 号を 7 千 5 百部発行 (6 月)
- ・ 情報誌「NEWS&REPORTS」Vol.26No.1~No.3 を計 2 万 1 千 9 百部発行 (7 月、11 月、3 月)

2. 自治体・学会・大会等に対する資料情報提供事業

- ① 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター、国税局、税務署、酒類業界及び関係団体等へ機関誌、情報誌、講演会記録集等配付・頒布した。
- ② 当協会の活動方針と方向性を一にする内容をもつ学会・大会及び学校におけるアルコール健康教育に対し、先方からの求めに応じて、情報誌、小冊子、リーフレット等を提供した。
- ③ 都道府県、市区町村、保健所、精神保健福祉センター等に対し出版物の値引き頒布及び送料無料キャンペーンを行ったところ 16 件（計 4,142 部）の申込みがあった。

各種大会等に対する資料の提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
【令和2年】 11月6日	第10回飲酒と健康に関する講演会	750部

20歳未満の者の飲酒防止向け資料提供（主なもの）

開催年月日	提供先	部数
《令和2年》 【通年】	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン 浦安市薬剤師会より資料提供依頼	2,300部 1,000部

3. インターネットによる情報提供

お酒と健康（飲酒の基礎知識、適正飲酒の10か条、飲酒運転防止、20歳未満の者の飲酒防止等）、アルコールと健康に関する最新の医学情報、お酒と文化等の情報をホームページで広く公開した。なお、令和2年度中のアクセス件数は、28,587件であった。

4. 書籍の頒布事業

当協会作成・発行の情報誌、リーフレット等や書籍（シリーズ「酒の文化」、ハンドブック「アルコールと健康」、適正飲酒の手引き「お酒と健康ライフ」等）を低廉な価格で、一般消費者、地方公共団体等に販売した。

5. 後援事業

当協会の活動方針・目的に合致している内容をもつ学会・大会等のイベントに対し、先方からの要請に応じ、後援団体としての当協会の名義使用を認め、当該イベントを側面からバックアップした。

令和2年度は次の5件の後援等依頼があった。

- ・20歳未満飲酒防止・飲酒運転撲滅全国統一キャンペーン（全国小売酒販組合中央会）
- ・令和2年度「青少年の非行・被害防止全国協調月間」（内閣府）
- ・2020年度20歳未満飲酒防止教育“学校コンクール”（ビール酒造組合）
- ・第30回「肝臓週間」（公財）ウイルス肝炎研究財団
- ・全国生活習慣病予防月間2021（（一社）日本生活習慣病予防協会）

6. 取材・問合せ等への対応事業

新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業等から適正飲酒、飲酒運転・20歳未満の者の飲酒防止等に関する問合せや掲載許可など数十件あった。

また、当協会ホームページへのリンクやホームページに掲載している適正飲酒の10か条、血中濃度と酔いの状態などの図表等について、新聞・TV・雑誌等のメディア関係者や自治体、企業等から新聞、雑誌やホームページ、広報誌、職員研修用資料などに使用掲載することについての許可依頼が10件程度あった。

7. 講演会・セミナー等事業

講演会の開催

令和2年11月6日（金）、第10回 飲酒と健康に関する講演会を開催した。

また、同3年3月には、講演会内容を取りまとめた記録集を3,000部作成し、関係者に配付した。

第10回 飲酒と健康に関する講演会

主 催 者	公益社団法人アルコール健康医学協会
開催日時	令和2年11月6日（金） 13:00～16:30
会 場	星陵会館ホール
参 加 者	100名
後 援	厚生労働省、国税庁、文部科学省、公益財団法人日本学校保健会 健康日本21推進全国連絡協議会
講演内容	<p>1. 「健康日本21（第二次）とアルコール健康障害対策の推進について」 厚生労働省厚生労働省 健康局健康課 女性の健康推進室長 松村 漠志</p> <p>2. 「小・中学生への効果的な飲酒防止教育」 茨城県銚田市立旭西小学校 養護教諭 関根幸枝 埼玉県川口市立里中中学校教諭（元中学校校長）佐藤恵子</p> <p>3. 「大学生を含む若者の飲酒の課題と対策」 筑波大学医学医療系 准教授 吉本 尚</p>

	<p>4. 「アルコールと身体疾患」 独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 臨床研究部部長 横山 顕</p>
--	--

8. 助成事業

当協会の活動方針とその方向性を一にする団体やその団体の実施するイベント等に対して酒類業中央団体連絡協議会の協力を得て、助成金の交付を行うことにより当協会のPR・活動の充実を図った。令和2年度は以下の(1)～(5)の5件。

(1) 第55回日本アルコール・アディクション医学会学術総会への助成

主 催 者	第55回日本アルコール・アディクション医学会学術総会 会長 西谷陽子（熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座 教授）
開催日時	令和2年11月22日（日）～23日（月・祝）
会 場	COVID-19の流行拡大を受けて福岡市での実地開催を中止し、オンライン配信によるWeb開催
参加者	307名
講演等	<p>特別講演 テーマ：アルコールの法医学鑑定をめぐって；吸収動態とブラックアウトを中心に</p> <p>座長 西谷 陽子（熊本大学大学院生命科学研究部法医学講座） 演者 藤宮 龍也（山口大学大学院医学系研究科法医学講座）</p> <p>教育講演 テーマ：アルコールの代謝はどこまで明らかになったのか</p> <p>座長 藤宮 龍也（山口大学大学院医学系研究科法医学講座） 演者 長谷場 健（神奈川歯科大学大学院災害医療・社会史学講座 法医歯科学）</p> <p>シンポジウム テーマ：アルコール関連肝疾患のトピックスー基礎と臨床</p> <p>座長 池島健一（順天堂大学大学院医学研究科消化器内科） 竹井謙之（三重大学消化器内科）</p> <p>演者 「アルコール関連肝疾患ー新たな疾患概念」 堀江義則（湘南慶育病院消化器内科）</p>

	<p>「アルコール性肝障害診療の現況 ー診断時期別病態・精神科的介入の変遷を中心にー」 谷合麻紀子（東京女子医科大学消化器内科）</p> <p>「アルコール関連肝疾患と脂質代謝」 中牟田 誠（国立病院機構九州医療センター）</p> <p>「アルコール関連肝疾患の病態と腸内細菌叢変化」 今 一義（順天堂大学医学部消化器内科）</p> <p>「アルコール関連肝疾患の病態進行メカニズムと細胞外小胞」 江口暁子（三重大学大学院医学系研究科消化器内科）</p> <p>「脂肪肝炎におけるゲノム不安定性と発癌」 赤澤祐子（長崎大学消化器内科）</p>
--	---

- (2) 第30回アルコール健康教育研修会への助成
 毎年8月に健康行動教育科学研究会が主催し開催していたアルコール健康教育研修会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため集参しての研修会を取りやめ、YouTubeにて研修会の内容の一部を令和3年3月31日まで公開した。
- (3) 第4回関東甲信越アルコール関連問題学会千葉大会への助成
 令和3年3月14日（日）に新型コロナウイルス感染症の終息が見通せない中、感染リスク低減のためWeb開催にて学会を開催。
 大会のテーマは「アディクション回復における「自力」と「他力」ー自己放下のタイミングはいつか？」
 主催：大会長 南 雅之氏（医療法人社団健仁会 船橋北病院 院長）
 シンポジウム、教育講演等が開催され221名の参加があった。
- (4) アルコール健康教材用CD活用推進研修会への助成
 一般社団法人東京都学校薬剤師会が主催するアルコール健康教材用CD活用推進研修会を東京都学校薬剤師会の会員を対象に開催した。研修会を計6回開催し、参加者総数は344名であった。
- (5) 知識と体験から学ぶ未成年者飲酒防止教育への助成
 NPO法人青少年健康力サポートラボ・ジャパンから講師を派遣し中学校、高等学校等で「知識と体験から学ぶ未成年者飲酒防止教育」の講演を行った。本年度は新型コロナ感染防止のため、いくつか講演が中止となったが、計7か所で講演し、受講者は計445名。

【公2 学術事業】

アルコールと健康に関する最新の医学情報の収集

平成17年度より、ビール酒造組合から委託を受け実施している事業であり、疫学・予防、基礎研究（病理・生理・薬理）、臨床・治療（内科系）に加えて、令和元年度から臨床・治療（精神科系）についても収集しており、令和2年度においては、世界中の主要な医学雑誌や文献等からアルコールと健康に関する最新の医学情報を231件収集した。

また、令和元年度上半期の論文要旨 83 件については令和 2 年 8 月に、下半期の論文要旨 123 件については同 12 月に当協会ホームページに公開した。

医学情報収集に関する委託事業

区分	
契約日	令和 2 年 4 月 1 日
契約期間	1 年毎
学術情報収集のための学術調査先	下記参照

アルコールと健康に関する最新の医学情報収集のための調査及びその整理

区分	担当者
疫学・予防に関する調査	滋賀医科大学社会医学講座公衆衛生学部門 教授 三浦 克之 先生
基礎研究（病理・生理・薬理）に関する調査	元高崎健康福祉大学薬学部薬学科 教授 八田 慎一 先生
臨床・治療（内科系）に関する調査	慶應義塾大学看護医療学部 教授 加藤 眞三 先生
臨床・治療（精神科系）に関する調査	独立行政法人国立病院機構久里浜医療センター 副院長 松下 幸生 先生

【公 3 広告審査事業】

- 令和 2 年度における酒類の広告・宣伝に関する消費者等からの苦情は 0 件、相談は 66 件（ノンアルコール飲料に関するものを含む）であった。
- 令和 2 年度の酒類の広告・宣伝に関するテレビ・新聞・雑誌等の業界策定自主基準の遵守状況等について審査委員会及び同実務者委員会をそれぞれ 2 回開催するとともにその結果を関係者に報告した。また、ノンアルコール飲料についても審査した。

(1)審査委員会及び同実務者委員会の委員（令和 3 年 3 月 31 日現在）

・審査委員会（委員長は井嶋一友氏）

井嶋 一友	弁護士
大木 美智子	一般財団法人消費科学センター代表理事
高石 昌弘	東京医科大学客員教授
田中 慶司	公益社団法人アルコール健康医学協会理事長
田中 秀一	国際医療福祉大学医療福祉学部長

・実務者委員会（委員長は宍戸 旦氏）

池永 修	ビール酒造組合審議役
亀井 慶承	日本酒造組合中央会理事
宍戸 旦	マーケティングコンサルタント
田中 潤	日本洋酒酒造組合アルコール委員会委員長
手島麻記子	食文化研究家
並木 茂夫	NPO 法人青少年健康力サポートラボ・ジャパン副理事長
松本 浩明	日本蒸留酒酒造組合社会環境小委員会委員
市田 浩恩	公益社団法人アルコール健康医学協会常務理事

(2)委員会の開催状況

【審査委員会】

(第43回) 令和2年6月29日～7月2日 (書面審査)

議題 実務者委員会委員の選任

(第44回) 令和2年7月6日 (月) 14:00～15:40 於: KKRホテル東京

議題 1. 経過報告 (苦情・問合せの状況)
2. 第35回実務者委員会の報告
3. 酒類広告の審査
4. その他

(第45回) 令和2年11月16日～12月19日 (書面審査)

議題 改選期に伴う審査委員会委員改選と実務者委員会委員の選任

(第46回) 令和3年3月24日 (水) 15:00～17:00 於: KKRホテル東京

議題 1. 経過報告 (苦情・問合せの状況)
2. 第36回実務者委員会の報告
3. 酒類広告の審査
4. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
5. その他

【実務者委員会】

(第35回) 令和2年6月8日 (月) 資料送付による審査の実施

1. 経過報告 (苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. その他

(第36回) 令和2年12月14日 (月) 14:00～16:00 於: アルコール健康医学協会会議室

1. 経過報告 (苦情・問い合わせの状況)
2. 酒類広告の審査
3. ノンアルコール飲料のTVCFの審査
4. その他

(3) 審査結果の概要の公開

審査委員会の審査結果の概要を第44回は令和2年9月に、第46回は令和3年4月に酒類の広告審査委員会のホームページに公開した。

なお、第43回は実務者委員選任、第45回は審査委員の改選と実務者委員の選任に伴う書面審査のみ。